

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年05月07日

計画の名称	「にぎわい創出」のための豊橋まちなか拠点再生											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	豊橋市											
計画の目標	事業実施により、本市の中心市街地活性化の目標である「にぎわいの創出」、「商業・サービス業の活性化」、「まちなか居住の促進」の推進を図る。											
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		5,076	A	5,076	B	0	C	0	D	0
										効果促進事業費の割合C / （A+B+C+D）		0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）		（R6末）
1	1日あたりの休日歩行者通行量60,107人/日（H30）から66,000人/日（R6）に増加 中心市街地7箇所の歩行者数を測定する	60107人/日	人/日	66000人/日
2	空き店舗数を78店（H30）から66店（R6）に減少 中心市街地地区内で毎年3月に空き店舗数を調査する	78店舗	店舗	66店舗
3	中心市街地の人口9,732人（H31）から10,200人（R6）に増加 4月1日現在のまちなかにおける居住者数を調査する	9732人	人	10200人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	豊橋市	間接	市街地再開 発組合	-	-	豊橋駅前大通二丁目地区 市街地再開発事業	商業,業務,公益施設,住宅等 1.5ha	豊橋市	■	■	■	■	■	5,076	1.06	-
											小計						5,076		
											合計						5,076		

事 後 評 価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
豊橋市において当該社会資本総合整備計画関係課により事後評価を実施	令和7年4月
	公表の方法
	豊橋市ＨＰに掲載

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・市街地再開発事業により施設建築物および広場などが整備されたことで回遊性が向上したものの、新型コロナウイルス感染症の流行による社会活動の停滞に伴い休日歩行者通行量が減少し、目標値達成までには至らなかった。 ・市街地再開発事業により土地の高度利用と都市機能の更新が行われたことで、中心市街地の利便性・機能性が大きく向上した。また、エリアの価値が高まり、面的な広がりのある市街地環境の整備・改善がなされたことで、空き店舗数の減少に寄与した。 ・市街地再開発事業により住宅が整備され、かつ、市街地環境の整備・改善がなされたことで、中心市街地の人口増加に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

・本整備計画の基幹事業である豊橋駅前大通二丁目地区市街地再開発事業が完了し、上記の効果を生み出している。
 ・今後も、市街地再開発事業等を推進することにより、中心市街地活性化の目標である「にぎわいの創出」や「商業・サービス業の活性化」などの効果が期待されることから、継続して事業に取り組んでいく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	1日あたりの休日歩行者通行量の増加		
	最 終 目標値	66000人/日	新型コロナウイルス感染症の流行による社会活動の停滞に伴い歩行者数が減少した後、市街地再開発事業が完了したことで回遊性が向上し、5 類移行に伴い社会活動が活発化したが、目標値までには至らなかったものと考えられる。
	最 終 実績値	51733人/日	
2	空き店舗数の減少		
	最 終 目標値	66店舗	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い飲食店を中心として店舗数が減少した後、市街地再開発事業が完了しエリアの価値が高まり、5 類移行に伴い社会活動が活発化したことにより、空き店舗数は減少傾向となったが、目標値までには至らなかったものと考えられる。
	最 終 実績値	73店舗	
3	中心市街地の人口の増加		
	最 終 目標値	10200人	
	最 終 実績値	10295人	